

9月22日(金) 菊池地区交通安全講習会

菊池地区交通安全講習会が、菊池市在住の高齢者を対象に菊池自動車学校でありました。

菊池警察署と菊池地区交通安全協会の主催で行なわれたもので、秋の全国交通安全運動期間（9月21日～9月30日）に合わせて開催され、約40人が参加しました。

講習会では、菊池自動車学校とダンブカー協会菊池支部の協力のもと、実際にダンブカーでの自転車の巻き込み実験や、機械を使った運転体感シミュレーションなどが行われました。

参加者たちは、終始真剣に講習を受けていました。



真剣に説明を聞く参加者たち

9月21日(木)きくちおはなしのもりが読み聞かせボランティア大賞で奨励賞受賞を報告

読書コミュニティネットワーク主催の第2回読み聞かせボランティア大賞で、「きくちおはなしのもり（代表・原保奈美、会員13人）」が奨励賞を受賞しました。

この賞には、全国から約100点の応募があり、大賞に1団体、奨励賞に7団体が選ばれました。同会は、その中のひとつに選ばれたもので、熊本県で受賞したのは同会だけです。毎月2回の中央公民館でのおはなし会をはじめ、市内小学校や保育園でも、訪問おはなし会を10年間続けていることなどから今回の受賞となりました。

同会は、他にも熊日みどりのリボン賞の受賞や県立図書館からの優良グループとしての表彰も受けています。

また、生涯学習フェスティバルをはじめ、ブックスタートや、童話発表会などの市の事業にも、積極的に協力しています。

おはなしの中には、菊池の方言やわらべ歌を巧みに取り入れて、親にも伝えることによって、それを親から子へと伝わるような工夫をされています。

同会の今後の活躍が期待されます。



受賞の報告に福村市長（右）を訪ねたきくちおはなしのもりのメンバー

9月25日(月)菊池市建設業協会 (旭志地区)が奉仕作業

菊池市建設業協会（旭志地区）のメンバーが、旭志中央線沿いの草刈作業をボランティアで行いました。

作業は朝8時より行われ、21人の関係者が参加して黙々と作業を行いました。

これは、日頃お世話になっている地域の皆さんが安全に道路を通行できるようにとの思いから、毎年この時期に行われています。



道路沿いの草刈作業をボランティアで行う菊池市建設業協会（旭志地区）のメンバー

8月18日(金) 平成18年度菊池市児童による童話発表会

児童による童話発表会が、菊池市泗水ホールでありました。市内の各小学校を代表し、20人の児童たちが元気いっばいに楽しいお話を発表しました。

優秀賞には、松永莉奈さん（旭志小）、柴田美優さん（隈府小）、西山瑞菜さん（戸崎小）、松原輝くん（河原小）、宮本大誠くん（泗水小）が選ばれました。

また、代表者（上記5人うちの4人）は、8月25日（金）に合志市総合センターヴィーブルで行われた、菊池郡市童話発表会に菊池市代表として出場し、松永莉奈さんが最優秀賞を受賞しました。

松永さんは、10月29日（日）に富合町の「アスバル富合」で行われる熊本県童話発表大会に、菊池郡市代表として参加します。市民の皆さんの応援をお願いします。



左から松永さん、柴田さん、西山さん、松原くん、宮本くん

●おわびと訂正

10月1日号の4ページに掲載した松原くんの写真が誤っていました。正しくは上記のとおりです。おわびして訂正します。

～赤、黒、緑、ピンク、栄養も抜群～ 4色の古代米で新たな産地づくり

歴史ある菊池、米どころ菊池の新たな特産品として、古代米の産地づくりに向けた取り組みが中山間地域を中心に進められています。

昨年、第3セクター農業生産法人「ファームきくち」が試験栽培を行い、今年度から本格的な生産が始まりました。

栽培したのは、赤、黒、緑、ピンクの4色。実りの秋を迎え、9月から様々な色の稲穂の波が山あいの棚田を彩っています。

古代米にはビタミンやポリフェノールなどの栄養素が多く含まれ、健康ブームで需要が増す中、今年度から新たな産地づくりの一環として、ファームきくちと菊池市が企画したものです。

付加価値のある古代米を特産品としてブランド化し、中山間地の農業振興、農業の新規参入者受け入れのきっかけにもなればと、今年の6月に下河原の松島区の生産者グループを中心に約6.6haの水田に古代米の田植えが行われました。

古代米の作付面積は九州最大級で、組織的な古代米生産も全国的に珍しいとされています。

10月中旬から収穫が始まり、ファームきくちを通じて市内の道の駅・物産館をはじめ、インターネットなどを通じて全国販売されます。

古代米の食べ方は、白米1合に古代米大さじ1杯を入れて普通に炊くだけで簡単で、彩りも鮮やかです。

今後、古代米の稲を切花用に利用したり、古代米を粉末化しパンなどに利用したりするなどその用途を広げながら、耕作放棄地の解消や景観形成に向け中山間地域を中心に作付面積を拡大する計画です。

古代米は、原種に近いもち米で、通常の稲に比べ病害虫に強い。減農薬・無化学肥料での栽培が行いやすく、菊池市農林振興課農政係では、今後、無農薬・無化学肥料での栽培も計画されるなど、安全・安心の農作物づくりや食を通じた健康づくりにも繋がるものと考えています。



9月中旬に、鮮やかな赤色の稲穂をつけた「赤米」



6月25日（日）にあった「古代米」の体験田植え

8月19日(土)・20日(日)第14回全国中学生空手道選手権大会

京都市総合体育館で全国中学生空手道選手権大会があり、全国の都道府県の厳しい予選を勝ち抜いた、各地の上位各2団体と個人2人ずつが出場しました。

熊本県代表として、菊池市から泗水中学校の男女9人が出場し、夏休みの1ページを飾るにふさわしい熱き戦いが繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。（敬称略）

▼男子団体形 5位（87チーム中）▼男子団体組手 5位（91チーム中）▼女子団体組手 3位（82チーム中）▼女子個人形 吉安珠貴 2位（96人中）、松村菜々 ベスト16（96人中）

▼女子個人形▼泗水中学校男子選手（個人・団体メンバー）田代幸太郎（3年）、田代大周（3年）、中野翔太（3年）、田代峻（2年）、高木勇伸（2年）▼泗水中学校女子選手（個人・団体メンバー）松村菜々（3年）、吉安珠貴（2年）、松本めぐみ（1年）



京都市総合体育館であった全国中学生空手道選手権大会で、優秀な成績を収めた泗水中の生徒たち

8月6日(日)第2回九州中学校空手道競技大会(中体連)

沖縄武道館で九州地区中体連競技大会があり、九州各地で勝ち上がった上位の各2団体と個人4人ずつが出場しました。

熊本県代表として、菊池市から泗水中学校が郡大会、県大会の予選を勝ち抜き挑みました。

上位の結果は次のとおりです。（敬称略）

▼男子団体形 2位▼男子団体組手 3位

▼女子団体形 3位

▼女子団体組手 優勝▼女子個人形 吉安珠貴 3位

▼泗水中学校出場選手 田代幸太郎、田代大周、中野翔太、田代峻、高木勇伸、松村菜々、吉安珠貴、松本めぐみ